

## 「集中治療に携わる看護師のクリニカルラダー」の公表と運用について

### 序文

我が国の人口構造の変化に合わせた医療システムの改革が進む中、超急性期医療の中核である救命・集中治療に携わる看護師にはさまざまな役割が求められています。患者の生命を救うこと、治療後の生活を見据え後遺症を最小限に予防すること、治療の帰結にかかわらずその人らしい生き方を尊重することなどがあげられます。その実現には、看護の基盤となる「看護実践能力」の強化が最も重要になります。

日本集中治療医学会は、2014年に「集中治療に携わる看護師のためのクリニカルラダー」（旧ラダー）を公表しました。しかし、「クリニカルラダー」と銘打ちながらも、実際は「キャリアラダー」であるという矛盾を孕んでいました。そこで、2016年に公表された日本看護協会版ラダーで提示された、すべての看護師に共通する看護実践能力を土台として、集中治療看護の専門性を反映させた「看護実践能力」に焦点をあてたラダーが必要と判断し、改訂作業をおこないました。

本ラダーは、日本看護協会版ラダーのレベル毎の定義や目標、行動目標を基盤として、集中治療室に入室することの多い患者特性や臨床状況を設定することで、集中治療看護の専門性を浮き立たせるような表現で看護実践例を示しています。

### 改訂版ラダーの開発の目的

日本集中治療医学会が本ラダーの開発と普及を通して期待することは、以下の3点になります。

- ① 集中治療に携わる看護師の実践能力の向上に寄与する
- ② クリニカルラダーの活用を通して集中治療に携わる看護師が継続的に自己啓発を行い、専門的能力を高める機会とする
- ③ 社会や組織に対して、集中治療に携わる看護師の実践能力を客観視するための資材を提供する

### 改訂版ラダーの運用について

本ラダーは、看護実践能力をより高めていくためのツールとして活用いただきたいと考えています。実践例は、汎用性のある表現で表していますので、仮に評価指標として活用いただく場合には、自施設の集中治療室に入室する患者特性や施設特徴にあわせた形に修正し、看護師を主語とする行動レベルでの表記を検討ください。既存の自施設ラダーを見直す際の参考として活用いただきたいと思います。

また、ラダーレベルで設定している想定患者の業務を実施できるか否かを規定するものではなく、あくまでも看護師への支援の必要性を判断するために活用いただければ幸いです。

今後、本ラダーは、当学会主催の教育セミナーと連動させていくこととします。

日本集中治療医学会 看護卒後教育検討委員会  
「改訂版 集中治療に携わる看護師のためのクリニカル・ラダー」作成ワーキンググループ  
委員長 津田泰伸  
担当理事 宇都宮明美